

いちのみや ファミサポだより

第 63 号 2020 年 10 月

いちのみやファミリー・
サポート・センター
〒491-0858
一宮市栄3丁目1番2号
(中央子育て支援センター内)
TEL (0586) 28-9772
FAX (0586) 85-7037

新型コロナウイルス感染症の先行きが見えず不安な毎日が続いていますね。その様な中でも、感染予防に注意を払いながら、日々多くの援助活動が円滑に進んでいますこと、感謝しております。今後も、お互いが安心してご利用いただけるよう、ご協力をお願いします。

フォローアップ研修会でスキルアップ!

援助・両方会員を対象とした、交通安全についての研修会を開催しました。援助に役立つ、交通事故に遭わないための知識や守るべきルールを学んでいただきました。

会員みなさんは、この交通ルールを知っていますか?



***自転車は、道路交通法で「車両」と定義されています。**

自転車は車の仲間です。自動車と同じように左側を走ります。ただし、12歳までは歩道を走っても大丈夫。歩行者に気をつけてゆっくり走りましょう。

***車両運転中（自転車でも）のながらスマホは、法律で禁じられています。**

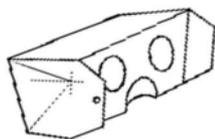
車を運転する時は、スマホの電源を消したり、手の届かない場所に置いたりして触らないと決めておくことが大切です。

***ヘルメットは12歳まで、必ずかぶらなくてはなりません。**

あごの下に指2本分の隙間を空けてベルトをしめて、正しくかぶることも大切です。

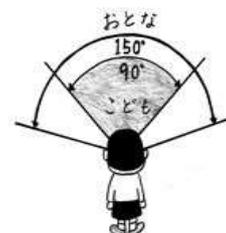
***6歳未満の子どもを自動車に乗せる場合は、チャイルドシートの使用義務があります。**

時速60kmでの事故の衝撃は、ビルの5階から落下したのと同じ程度。子どもの命を守るために、必ずチャイルドシートを着用しましょう。



～『チャイルド ビジョン』を体験しました～
(子どもの視野 体験メガネ)

大人の左右の視野は150°、しかし子どもは90°です。体験メガネをはめると視野が狭くなり、まわりが見えず危険だと感じた援助会員さんたち。「援助する時は大人がわかりやすく声をかけたり、一緒に大きく首を振って左右の確認をしたりすることが大切ですね」と実感されていました。



これだけしか見えていないのですね!?

***今後も、安心・安全な活動を行っていただくために「質の確保」を目的としたフォローアップ研修会を実施していきます。ご参加お待ちしております。**

援助会員さんにインタビュー

一宮市のファミサポに登録している依頼会員さんの家庭環境をみると共働き世帯が多く、核家族が大半をしめています。「仕事が長引き、保育園の迎えに間に合わない」「用事があるけど子どもを預ける人がいない」など、子育てが大変な時や困った時、ちょっと手助けしてくれる人がいると安心ですね。今回は、いつも温かいまなざしでサポートをしてくださっている援助会員さんにインタビューしました。



Q. あなたにとってファミサポとは？

A. 老夫婦 2 人暮らしの中、ファミサポを通じて子どもと接する機会をいただき、生きがいになっている。

(援助会員 Mさん)

A. 平日は毎朝の送りの援助が、生活のリズムの 1 つになっている。

(援助会員 Uさん)

A. みんなで助け合って、子どもが愛情豊かに成長していけるように手助けさせていただけるところ。

(援助会員 Kさん)

A. 長く続けられる助け合いの活動。

(援助会員 Iさん)

Q. 援助で嬉しかったことは？

A. 夕食を食べる時、自分の作るごはんを美味しいと言ってもらえたこと。

(援助会員 Uさん)

A. 成長したお子さんの写真を送っていただけたこと。

(援助会員 Kさん)

A. 子どもの笑顔を見られること。

(援助会員 Nさん)

A. お子さんや保護者の方々に喜んでいただけたこと。援助後も家族ぐるみのお付き合いを続けられること。

(援助会員 Iさん)



Q. 援助で心がけていることは？

A. とにかく明るく、お子さんの方からたくさん話ができるようにしている。

(援助会員 Sさん)

A. お子さんの安全を第一に心がけ、保護者の方の不安を少しでも楽にするように心がけている。

(援助会員 Yさん)

A. 車での送迎の援助が多いので、事故に気をつけている。また、日時を間違わないように気をつけている。

(援助会員 Mさん)

A. お互いの連絡を密にしている。

(援助会員 Kさん)



Q. 子育て中のお母さんにひとこと。

A. いろいろ心配なことがあっても、リラックスして、楽しく過ごせるように・・・お手伝いしますよ。

(援助会員 Sさん)

A. 何もかも自分ひとりでしなければ・・・と気負わず、気軽に頼ってね!!

(援助会員 Kさん)

A. 皆、がんばっているよ!

がんばりすぎないでね・・・。

(援助会員 Yさん)

A. 「子育てが大変だなあ」と感じた時は、サポートを利用してね。一緒にがんばりましょう。

(援助会員 Iさん)

